

高橋淡水 たかはし たいすい 著述家。生歿年不詳。本名と吉。筆名淡水漁史。

著書『時代文學史』(明治二十九年八月四日開發社)、古今東西『東亞今日の

歴史』(一名三百六十五頁史)、『明治四十二年十一月十日樂山堂書

房)、『發明及發明家・日本之部』(本名、秋保安治共著、明治四十

四年)二月十八日敬部中陽堂)、『大石良雄言行録』(大正七年六月七

日東京堂書房「修養史譚」)、『國民道徳史傳』(大正七年二月十五

日下村書房)、百鍊『千磨海舟と鑛舟』(大正十年八月十日下村書房)、

『神道儒教佛教をこへの話』(大正十年九月二十日下村書房)、天竺『東湖と象山』(大正十一年二月二十日下村書房)、七轉『八起大曲郷と大

久保』(大正十二年十一月十五日下村書房)、心『修養物語』(昭和

十七年八月十五日大日本百科全書刊行會)等。

